

唐招提寺金堂平成大修理記念

国宝 鑑真和上展

The Exhibition of National Treasure Ganjinwajo

2008年7月12日[土]－8月31日[日]

この夏、県立美術館では、
奈良にある唐招提寺の宝物を紹介する展覧会をひらきます。
唐招提寺を作った鑑真和上
（“和上”はえらいお坊さんという意味）のお像など、
大切に守り伝えられた作品を一堂に公開します。

展覧会場をまわりながら（ ）をうめてみましょう！

鑑真和上ってどんな人？

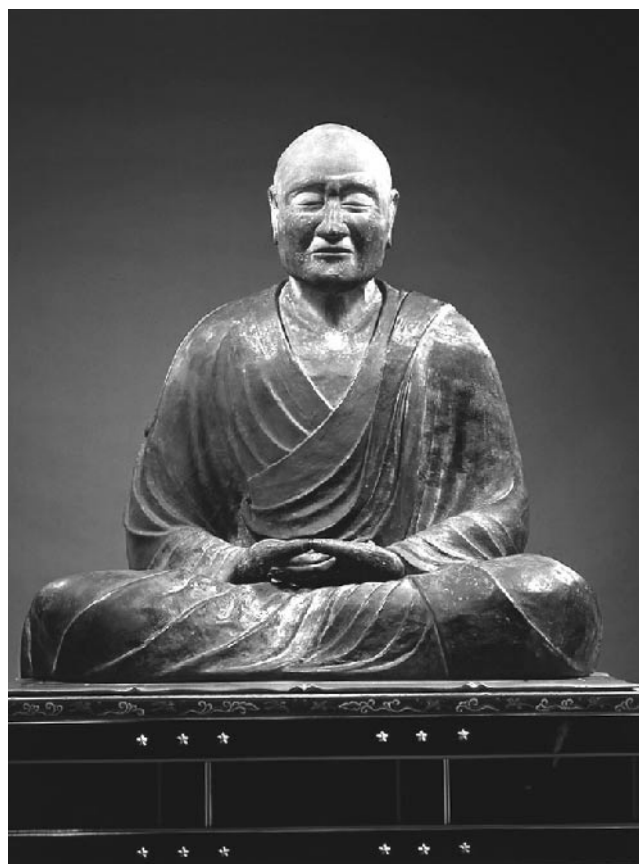
今から1200年もの昔、
招かれて（Q1）から日本にやって来たお坊さまです。
大昔のことなので旅するのは命がけ。
嵐にあって漂流するなど何度も失敗して、
苦労のために鑑真和上はついに（Q2）してしまいます。
それでも、（Q3）年もの歳月をかけて日本にたどり着き、
多くの人に教えを伝えました。

鑑真和上のお像を見てみよう

あるとき、和上の弟子の（Q4）というお坊さんが、
お寺の建物の一部がこわれる夢を見ました。
和上の死が近いのでは！と考えた（Q4）は、
この先も皆の心の支えになるようにと、
弟子たちと力を合わせて和上そっくりにこのお像を作りました。



まつげやひげの一本一本まで細かく表されています。
見えますか？
鑑真和上像に会った印象を聞かせてください。
どんな人だったと思いますか？



鑑真和上坐像／奈良時代（8世紀）／高さ 約80cm



きんきしゃりとう
金亀舍利塔(国宝) 平安時代

鑑真和尚は、日本へ来るときに舍利を持っておられました。
舍利というのは(Q5)) のことで、
仏教の教えを信じる人にとって、とても大切なものです。
船が大嵐にあって舍利が海に落ちてしまったとき、
金色の亀が背中に舍利をのせて浮かび上がってきた
といいます。

右の写真は、金色の亀の伝説をもとに
デザインされた舍利の入れ物です。



ガラスの壺^{つぼ}に入った舍利が、
このどこかに納められています。
どこにあるか分かりますか？



金亀舍利塔



四天王立像

してんのりゅうどう
四天王立像(国宝) 奈良時代

四天王とは、東西南北、四つの方角で仏教を守っている神様のこと。
その中から、(Q6) 天)(北)と(Q7) 天)(西)が展示されています。
悪いものを追い払えるように (Q8)) を着ています。

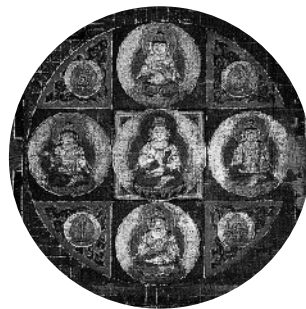


左右の手にそれぞれ何か持っています。何でしょう？
()と()
()と()

🔍 展覧会場で探してみましょう 🔍



鑑真和尚が持っておられたという鉄の鉢



金剛界曼荼羅(部分図)



鎌倉時代に活躍した覺盛上人

イベント情報「鑑真大和上宝前法要」六のつく日の法要 見学!

唐招提寺では、鑑真和尚がなくなられた5月6日にちなんで、6のつく日に和上像の前で法要を行っています。展覧会の間は、ここ静岡の
会場で、同じように法要がとり行われます。ふだんは見られないお寺の大切な行事。一緒に見学してみませんか？

- ◎日時／7月26日(土) 9:00 8月16日(土) 9:00 8月26日(火) 16:30
- ◎集合場所／県立美術館 正面玄関前
- ◎対象／小学生・中学生とその保護者 (小学生は保護者と参加してください)
- ◎定員／各回30名(保護者含む)
※お子さん1人につき保護者1人まで ※応募多数の場合、抽選となります。
- ◎参加費／保護者のみ観覧料が必要です。

申込方法

往復はがき

に右記をご記入の上
お送りください。

参加希望日、参加者の氏名、年齢、住所、電話番号(1通につき2名まで)
宛先 〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 静岡県立美術館 法要係

7月15日(火) 必着

美術館利用のご案内

開館時間／10:00～17:30 (会期中の土曜日は20:00まで開館) ※入室は閉館30分前まで
休館日／毎週月曜日(ただし7月21日[月・祝]開館、翌22日[火]休館)
観覧料／一般 1,200円(1,000円)、高校生・大学生・70歳以上600円(500円)、
中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体および前売料金。
託児サービス(無料) 土・日曜日、祝日にご利用いただけます。(午前10時30分～午後4時30分)

ウェブサイト <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>
携帯サイト <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/i/>

Shizuoka Prefectural Museum of Art
静岡県立美術館

お問合せ先
054-263-5755
〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2



主催／唐招提寺、静岡県立美術館、静岡新聞社・静岡放送、「国宝 鑑真和尚展」実行委員会 後援／文化庁、奈良県、奈良県教育委員会、静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会
特別協賛／清水銀行 学術協力／奈良国立博物館 協力／日本通運 題字／唐招提寺 前長老 益田快範 写真撮影／金井杜道